

令6年度 2年次生 学びのプラン

教科名	国語	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	2年次	
科目名	論理国語	履修	必履修(共通)	開講	通年	
教科書	探求 論理国語(桐原書店)	副教材	・大学入試漢字TOP2500 三訂版(いっずな書店) ・改訂版評論速読トレーニング1500(数研出版)			
1 学習の目標						
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。						
2 学習の方法						
①授業について 授業は週2コマで、評論を中心に学ぶ。また、「知識および技能」「思考・判断・表現」「学びに向かう力」の育成のため、グループワーク等を実施する。 ②クラスについて 授業はHR単位で行い、内容によっては図書室・特別教室を使用する場合がある。 ③ノートについて 一冊のノートを用意し、配布されたプリントを貼り付けたり、板書を書き写したり等、各自で整理する。また、配布されたプリントを綴じ込むファイルを用意する。 ④小テストについて 授業の中で副教材等を用いて小テストを適宜実施し、理解の定着を確認する。 ⑤課題テストについて 適宜単元テストを実施する。「知識・理解」の定着を目的とするもので、基準点に達していない場合は、再テストを実施する場合がある。 ⑥週末課題・レポート等について 様々な種類の文章や問題に慣れ、「読む能力」「書く能力」「知識・理解」を更に向上・充実させることを目的として、定期的に副教材等を用いた週末課題に取り組む。 ⑦授業の際に必要な物 教科書・ノート・副教材・国語辞書(電子辞書可) 必要に応じて事前に用意するものを連絡する。						
3 評価について						
①評価の観点						
知識・技能	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。					
思考・判断・表現	論理的・文学的・実用的な文章を的確に読み取るとともに、目的に応じて幅広く読み、自己の考えを深め、発展させている。必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。					
主体的に学習に取り組む態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。課題やグループワーク等に積極的に参加している。					
②評価の方法						
材料 観点	定期 考査	単元 テスト	課題	ワーク シート	グループ ワーク	評価方法
知識・技能	○	○	○	○		単元ごとに身に付ける知識や技能を考査等によって評価する。
思考・判断・表現	○	○	○	○	○	論理的に考える力や伝え合う力等をワークシートやグループワークの活動などで評価する。
主体的に学習に取り組む態度		○	○	○	○	主体的に学習に向かう意欲をワークシートやグループワーク、課題などで評価する。

4	その他
主体的な学習が大切となる。	

5	単元の目標・評価
単元名	1 つながりの中で～評論Ⅰ
単元の目標	・解釈の深化 … 解釈の深化 小説を参照し「いのち」について理解を深める。 ・論拠の検討 … 筆者の主張の小説を参照し、「いのち」について理解を深める。 ・いのちは誰のものか考え、誰とともに生きつつあるか考えて表現する。
育成を目指す力	傾聴力 発信力 想像力 創造力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・理解
評価規準	積極的に、学習課題に沿って、筆者の主張と根拠の関係を理解した上で論の展開をとらえようとしている。 「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。

単元名	2 文学と人間Ⅰ～論文を読む1
単元の目標	・要旨の把握 … 語の定義を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。 ・論拠の検討 … 筆者の主張の小説を参照し、「いのち」について理解を深める。 ・資料との関連 資料としての小説を鑑賞し、筆者の論拠を検討する。
育成を目指す力	傾聴力 発信力 想像力 創造力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・理解
評価規準	学習課題に沿って、筆者の主張と根拠の関係を理解した上で論の展開をとらえ、表現しようとしている。 筆者の主張を、本文中の具体例や言葉を引用しながらまとめたうえで、それに対して適切な意見文を書いている。 必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。

単元名	3境界をこえて、4言葉の可能性～評論Ⅱ、5テクノロジーの開く世界～評論Ⅳ
単元の目標	・要旨の把握 … 筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。 ・論拠の検討 … 対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・多様な観点 言葉と社会の関心に興味をもち、考えを深める。
育成を目指す力	傾聴力 発信力 想像力 創造力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・理解
評価規準	学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、的確に筆者の主張をとらえようとしている。 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらか要旨を把握している。 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりとするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。

単元名	6 文学と人間Ⅱ～論文を読む2
単元の目標	・要旨の把握 … 語の定義を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。 ・論拠の検討 … 筆者の主張の小説を参照し、「先生の淋しさ」について理解を深める。 ・先生の抱えている淋しさは先生の言動にどのように表れているか分析し、文にまとめる。
育成を目指す力	傾聴力 発信力 想像力 創造力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・理解
評価規準	学習課題に沿って、文章全体の構成に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 筆者の主張を、本文中の具体例や言葉を引用しながらまとめたうえで、それに対して適切な意見文を書いている。 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりとするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。

単元名								
単元の目標								
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度			思考・判断・表現			知識・理解	
評価規準	積極的に、学習課題に沿って、筆者の主張と根拠の関係を理解した上で論の展開をとらえようとしている。			筆者の主張を、本文中の具体例や言葉を引用しながらまとめたうえで、それに対して適切な意見文を書いている。			本文中以外の具体例を積極的に考えながら、本文の主張をより深く考察しようとしている。	

6 年間計画								
学期	月	単元	項目	予定時数	考查			
前期	4	1 つながりの中で 評論Ⅰ	・鷲田清一「いのちは誰のものか？」 ・江國香織「晴れた空の下で」 ・評論分析A	14	前期 中間 考查			
	5	2 文学と人間Ⅰ 論文を読む	・宮原浩二郎「変身に伴う快樂と恐れ—『山月記』を通じて」 ・中島敦「山月記」					
	6			16	前期 期末 考查			
	7							
	8	3 境界をこえて 自他・文学・人間	・松村圭一郎「器としての『わたし』」 ・評論分析B	6				
	9							
後期	10	4 言葉の可能性 評論Ⅱ	・大庭健「動物の信号と人間の言語」 ・竹内敏晴「行動としての話し言葉」	6	後期 中間 考查			
	11	5 テクノロジーの開 く世界 評論Ⅳ	・黒崎政男「ロボットは心を持つか」 ・石黒浩「そもそも心とは何か」	6				
	12	6 文学と人間Ⅱ 論文を読む	・山崎正和「淋しい人間」—『こころ』を通じて ・夏目漱石「こころ」	16	後期 期末 考查			
	1							
	2	7 共同体から市民 社会へ 評論Ⅴ	・山極寿一「暴力はどこからきたか」山崎正和	6				
	3							